

2022年12月16日

報道関係 各位

住友不動産株式会社
住友不動産販売株式会社

～本格的なクラシックやクリスマスの名曲まで～

『第112・113回 クリスマスステップコンサート』開催

【東京】2,150名、【大阪】1,700名 無料ご招待

「介助犬育成・普及のための募金」を日本介助犬協会に寄託

住友不動産グループは、“家族そろって楽しめるコンサート”をテーマに、12月5日(月)に『第112回クリスマスステップコンサート(大阪公演)』、12月10日(土)に『第113回クリスマスステップコンサート(東京公演)』を開催いたしましたのでお知らせいたします。

本公演は、“芸術・文化に触れ合う機会の創出”を目的に、本格的なクラシックコンサートを誰もが一緒に楽しむことができるよう、全席無料でご招待するクラシックコンサートです。当社グループは、社会貢献活動の一環として、今後も様々な文化・芸術活動の支援・発信を通じて、より一層、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



『第112回クリスマスステップコンサート(大阪公演)』
千住 真理子氏、種谷 典子氏、大槻 孝志氏の共演



『第113回クリスマスステップコンサート(東京公演)』
千住 真理子氏と東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の演奏

■ 本格的なクラシック音楽からクリスマスの名曲をお届け

今回のクリスマスステップコンサートでは、パーソナリティ&ヴァイオリンに千住真理子氏を迎えて、ソプラノやテノールによる本格的なクラシック音楽やクリスマス楽曲など充実のプログラムを披露いたしました。

《ステップコンサートとは》

「ステップコンサート」は、住友不動産グループの社会貢献活動の一環として、1987年の第1回開催以来、30年超の歴史を誇るコンサートです。“家族そろって楽しめるコンサート”をテーマに、毎回国内外で活躍の指揮者や演奏家、オーケストラを迎え、これまでに多くのお客様を無料でご招待。

児童福祉向上のために特に優れたコンサートであるとの評価から、1996年より「厚生労働省 社会保障審議会特別推薦 児童福祉文化財」に指定されています。

『第112回クリスマスステップコンサート(大阪公演)』 開催概要

開催日時	2022年12月5日(月) 開演 18:50
会場	ザ・シンフォニーホール 〒531-8501 大阪市北区大淀南2-3-3
出演者	千住 真理子(パーソナリティ&ヴァイオリン)、円光寺 雅彦(指揮)、 種谷 典子(ソプラノ)、大槻 孝志(テノール)、大阪フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)
招待者数	1,700名(全席無料ご招待)
プログラム	アンダーソン／ベルの歌、そりすべり クライスラー／愛の喜び ヴェルディ／歌劇「椿姫」から“乾杯の歌” J.シュトラウスⅡ／喜歌劇「こうもり」から“侯爵様、あなたのようなお方は” レハール／喜歌劇「微笑みの国」から“君こそ我が心のすべて” ベートーヴェン／ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス 第1番 チャイコフスキー／バレエ「眠れる森の美女」から ワルツ 《指揮者体験コーナー》 ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 マスカーニ／アヴェ・マリア アーヴィング・バーリン／ホワイト・クリスマス ベートーヴェン／ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス 第2番 モリコーネ／映画「ニュー・シネマ・パラダイス」から“SE” ジョン・ウィリアムズ／「ハリーポッター」から“ヘドウィグのテーマ” 他



『第112回クリスマスステップコンサート(大阪公演)』ザ・シンフォニーホール(大阪市北区)にて



ソプラノの種谷 典子氏による歌唱



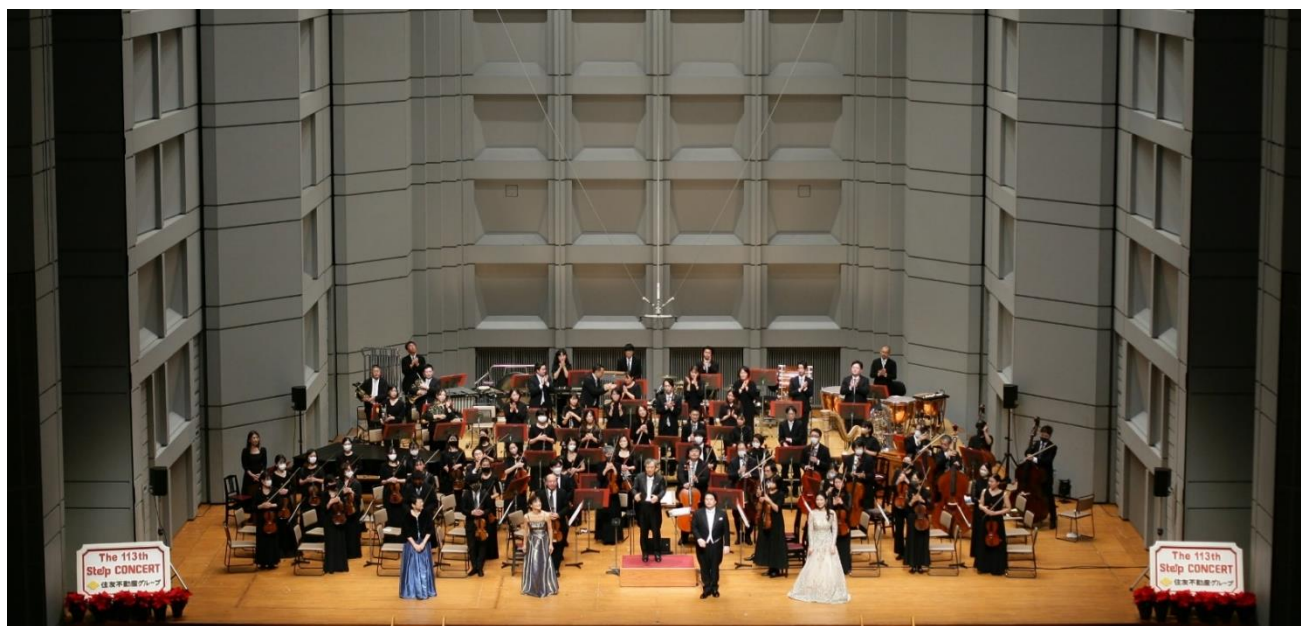
千住 真理子氏のソロ演奏



テノールの大槻 孝志氏による歌唱

『第113回クリスマスステップコンサート(東京公演)』 開催概要

開催日時	2022年12月10日(土) 開演 16:00
会場	Bunkamura オーチャードホール(東京都渋谷区) 〒150-8507 東京都渋谷区道玄坂2-24-1
出演者	千住 真理子(パーソナリティ&ヴァイオリン)、円光寺 雅彦(指揮)、高橋 維(ソプラノ)、 宮里 直樹(テノール)、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(管弦楽)
招待者数	2,150名(全席無料ご招待)
プログラム	アンダーソン／ベルの歌、そりすべり クライスラー／愛の喜び ヴェルディ／歌劇「椿姫」から“乾杯の歌” オッフェンバック／歌劇「ホフマン物語」から“森の小鳥はあこがれを歌う” プッチーニ／歌劇「ラ・ボエーム」から“冷たい手を” ベートーヴェン／ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス 第1番 チャイコフスキー／バレエ「眠れる森の美女」から ワルツ 《指揮者体験コーナー》 ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 フォーレ／「レクイエム」から“ピエ・イエズ” ニーノ・ロータ／映画「ゴッドファーザー」から“愛のテーマ” モリコーネ／映画「ニュー・シネマ・パラダイス」から“SE” ベートーヴェン／ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス 第2番 ジョン・ウィリアムズ／「ハリーポッター」から“ヘドウィグのテーマ” 他



『第113回クリスマスステップコンサート(東京公演)』Bunkamuraオーチャードホール(東京都渋谷区)にて



ソプラノの高橋 維氏による歌唱



千住 真理子氏のソロ演奏



テノールの宮里 直樹氏による歌唱

■ お子様のクラシック音楽との出会いを演出する「指揮者体験コーナー」

本コンサートでは、お子様がクラシック音楽を聴くだけではなく楽しみ触れる機会として、来場されたお客様の中から実際に舞台にあがっていただき、本格的なオーケストラの指揮を体験する「指揮者体験コーナー」を設け、大変ご好評をいただいております。

こうした取り組みにより、児童福祉向上のために特に優れたコンサートであるとの評価を受け、1996年より「厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財」に指定されております。

※指揮者体験は大人の方も対象としています。



来場者による「指揮者体験コーナー」

■ 「介助犬育成・普及のための募金」を日本介助犬協会に寄託

本コンサートでは、1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災から義援金活動をはじめ、2004年以降、社会福祉活動のため「介助犬育成・普及」に少しでもお役に立ちたいと会場で募金活動を行っております。

今回も、東京・大阪それぞれの会場にて「介助犬育成・普及のための募金」の受付を行い、ご来場者様より、合計で**427,732円**の募金が寄せられました。お預りした募金は「社会福祉法人 日本介助犬協会」に寄託し、介助犬育成・普及のために活用されます。ご来場のお客様の温かいご協力に感謝致しますとともにご報告申し上げます。

また、これまでに「震災復興支援の義援金」や「介助犬育成・普及のための募金」など、1995年の募金開始から累計で1,758万円を寄付しております。



ステージにて介助犬のデモンストレーション



会場内にてPR犬と触れ合いの機会を提供

※本リリースに関する取り組みは、以下のSDGs目標に貢献しています。



目標3 すべての人に健康と福祉を
目標4 質の高い教育をみんなに
目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

当社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

＜弊社のESG、SDGsに関する取り組み＞

<https://www.sumitomo-rd.co.jp/sustainability/sdgs.html>

＜本件に関する報道関係者お問い合わせ先＞

住友不動産株式会社 広報室 TEL:03-3346-1042

出演者のプロフィール

＜大阪公演・東京公演 共通＞



©Kiyotaka Saito(SCOPE)

◆ 千住 真理子(パーソナリティ&ヴァイオリン) / *Mariko Senju*

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」〈完全版〉を再リリース。春には「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.2」をリリースした。またデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を行う。2021年7月にアルバム「蛍の光～ピースフル・メロディ」をリリース。2022年9月には最新アルバム「ポエジー」をリリース。コンサート活動以外にも、講演会ラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)など多数。

ウェブサイト <https://marikosenju.com/>



©K.Miura

◆ 円光寺 雅彦(指揮) / *Masahiko Enkoji*

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ピアノを井口愛子氏に師事。1980年ウィーン国立音楽大学に留学しオトマール・スウィトナー氏に師事。1986年より1991年まで東京フィル指揮者。1989年より1999年まで仙台フィル常任指揮者としてオーケストラの飛躍的な発展に貢献し、2000年には東京公演を指揮するなど両者の取り組みが高く評価された。札幌交響楽団正指揮者(1998年～2001年)を経て、2011年から2019年3月まで名古屋フィル正指揮者として数多くの名演を共にしてきた。NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、新日本フィル、大阪フィル、広島交響楽団をはじめとするほとんどの国内オーケストラ、海外では1992年プラハ交響楽団定期演奏会、1994年BBCウェールズ交響楽団、1995年ベルゲン・フィル、1998年1月にはフランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、深い音楽性と的確な指揮で多くの聴衆を魅了している。テレビ等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。

◆ 好本 恵(司会) / *Megumi Yoshimoto*

元NHKアナウンサー、十文字学園女子大学教授、NHK文化センター講師。「きょうの料理」「すくすく赤ちゃん」「NHK俳壇」などを長く担当。現在はNHK番組「TVシンポジウム」などのコーディネーターの他、コンサート、式典の司会を務めることも多い。著書に「話しことばの花束」(リヨン社)「声の文化を楽しむ～朗読のすすめ」(日外アソシエーツ)などがある。



<大阪公演>



©深谷義直auraY2

◆種谷 典子(ソプラノ)／*Noriko Tanetani*

国立音楽大学、及び同大学院を首席修了。修了時に声楽専攻最優秀賞受賞。新国立劇場オペラ研修所第16期修了。平成28年度文化庁派遣によりミラノ及びビルガノーで研鑽を積む。21年二期会「魔笛」パバゲーナに抜擢され、22年二期会「フィガロの結婚」スザンナでも絶賛された。23年7月二期会「椿姫」主演予定。第24回リッカルド・ザンドナイ国際コンクールにてTokyo Metropolitan Opera Foundation賞受賞。第91回日本音楽コンクール声楽部門第2位。第16回東京音楽コンクール声楽部門第2位。二期会会員。



◆大槻 孝志(テノール)／*Takashi Otsuki*

東京藝術大学卒業。同大学院修了後、渡欧。二期会オペラ研修所マスタークラス修了。修了時に優秀賞並びに奨励賞受賞。ノルトハウゼン歌劇場管弦楽団来日公演「アイダ」で名歌手F.コソットらと共に本格的オペラ・デビュー。以降、新国立劇場、日生劇場、二期会等数多くのオペラに出演。「エフゲニー・オネーギン」レンスキー、「ルサルカ」王子、「サロメ」ナラポート等で好評を博す。注目の男声ユニット《IL DEVU》のメンバーとしても活躍し、これまで3枚のCDをリリース。二期会会員。



© 飯島隆

◆大阪フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)／*Osaka Philharmonic Orchestra*

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で発足、1960年に改称。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。大植英次音楽監督時代には、「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014～2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ／交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音が相次いでリリースされる等、高い評価を得た。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2022年、創立75周年を迎えた。

<東京公演>



◆高橋 維(ソプラノ) / *Yui Takahashi*

東京学芸大学大学院及び東京藝術大学大学院修了。第27回五島記念文化賞オペラ新人賞を機に渡嶼。二期会ニューウェーブ「ジュリオ・チェーザレ」クレオパトラでデビュー以降、「魔笛」夜の女王、「フィガロの結婚」スザンナ、「ナクソス島のアリアドネ」ツェルビネッタ等多くの舞台で主要な役を演じる。近年は日生劇場「ルチア」タイトルロールや二期会「こうもり」アデーレ等、卓越したテクニックと表現力で好評を博す。NHK「ニューイヤーオペラコンサート」「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等メディアにも出演し、注目を集めている。二期会会員。



◆宮里 直樹(テノール) / *Naoki Miyasato*

東京藝術大学首席卒業。同大学院修了後、ウィーン国立音楽大学オペラ科で研鑽を積む。第23回リッカルド・ザンドナイ国際コンクール第2位。第48回日伊声楽コンクール第1位、五十嵐喜芳賞、歌曲賞。第10回東京音楽コンクール声楽部門第2位(1位なし)及び聴衆賞他受賞歴多数。藤原歌劇団「愛の妙薬」ネモリーノ、日生劇場「ボエーム」ロドルフォ、二期会「蝶々夫人」ピンカートンで絶賛され、コンサートでもN響「第9」のソロ等で高い評価を得ている。NHK「ニューイヤーオペラコンサート」「クラシック倶楽部」等にも出演し、その美声で魅了している。二期会会員。

©深谷義宣auraY2



◆東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(管弦楽)

／ *Tokyo City Philharmonic Orchestra*

1975年設立。現在、常任指揮者に高関健、首席客演指揮者に藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者に飯守泰次郎を擁し、定期演奏会のほかオペラ、バレエ、テレビ出演、CD録音まで多岐にわたる。1994年から東京都江東区と芸術提携を結び、ティアラこうとうを主な拠点として定期演奏会をはじめ各種コンサートや区内小学校へのアウトリーチ活動など地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。2021年5月には桂冠名誉指揮者飯守泰次郎の傘寿記念として「ニーベルングの指環」ハイライト特別演奏会(演奏会形式)を開催。コロナ禍での開催ながら、海外から世界最高峰のワーグナー歌手陣を招き大成功を収め、2022年8月に第30回三菱UFJ信託音楽賞を受賞。

©K.Miura